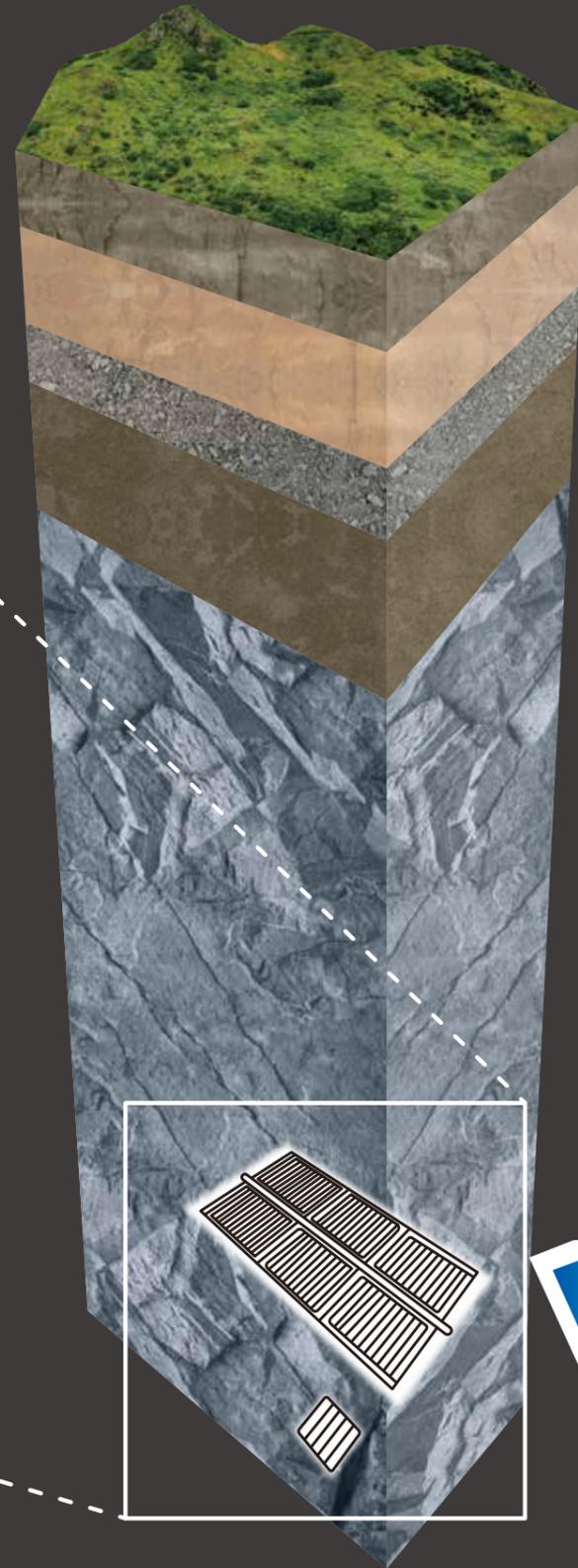
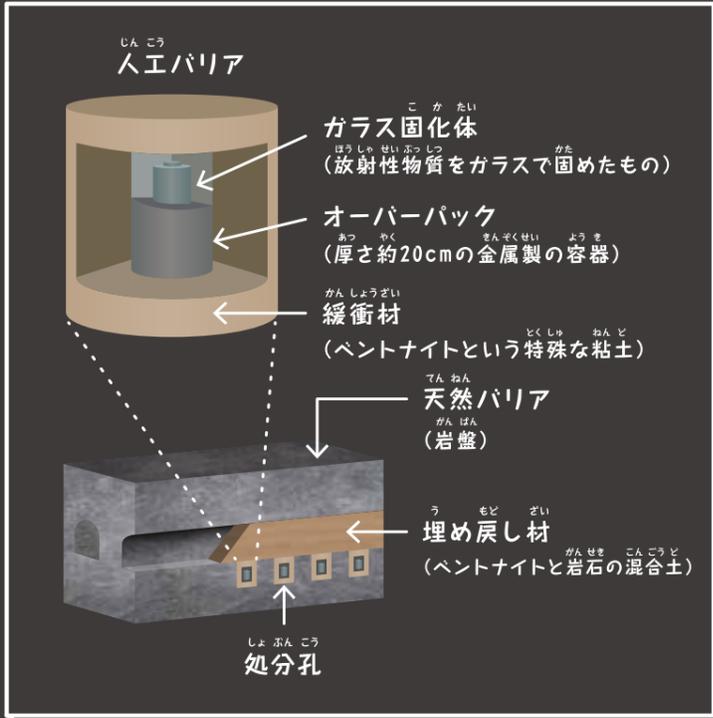


地層処分？

地表から300m以上も離れた深い地下に埋める

高レベル放射性廃棄物(ガラス固化体)は地表から300m以上深い安定した岩盤に埋めることで、人間の生活環境から隔離します。

そのため、地震、台風、津波といった自然現象のほか、戦争、テロ、火災などの影響を受けにくい特徴があります。



300m
以上



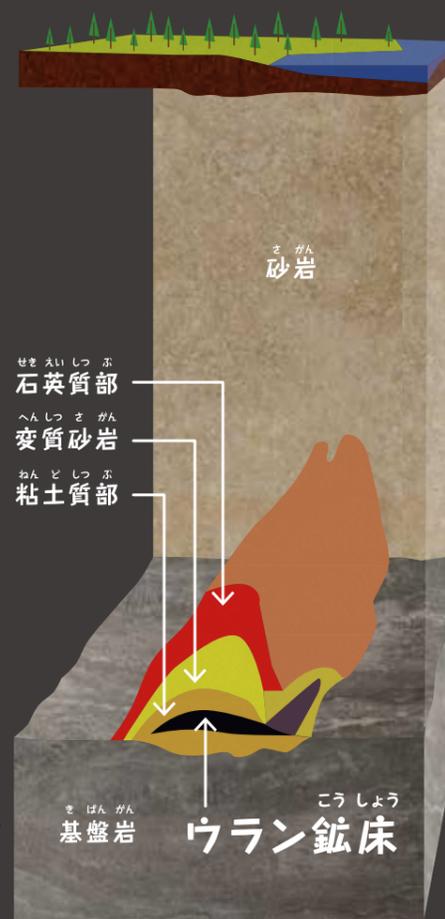
01

なが あいだ 長い間 と 閉じこめる

こ だい の ガラス や 金属 が 今 も 形 を 保った まま 発見 される など、自然界 には 現在 まで なが じ かん に わたり、もの が 安定 して 保存 されている 事例 が 多く あります。

カナダ の シガーレイク では、天然 の 放射性 物質 である ウラン が、約 13 億年 に わたり 地中 に 閉じ込められ、現在 まで 安定 に 留まっ ています。

ねん と そう あお 粘土層 に 覆われ、ウラン は 現在 も ち か と こ 地下 に 閉じ込められています。

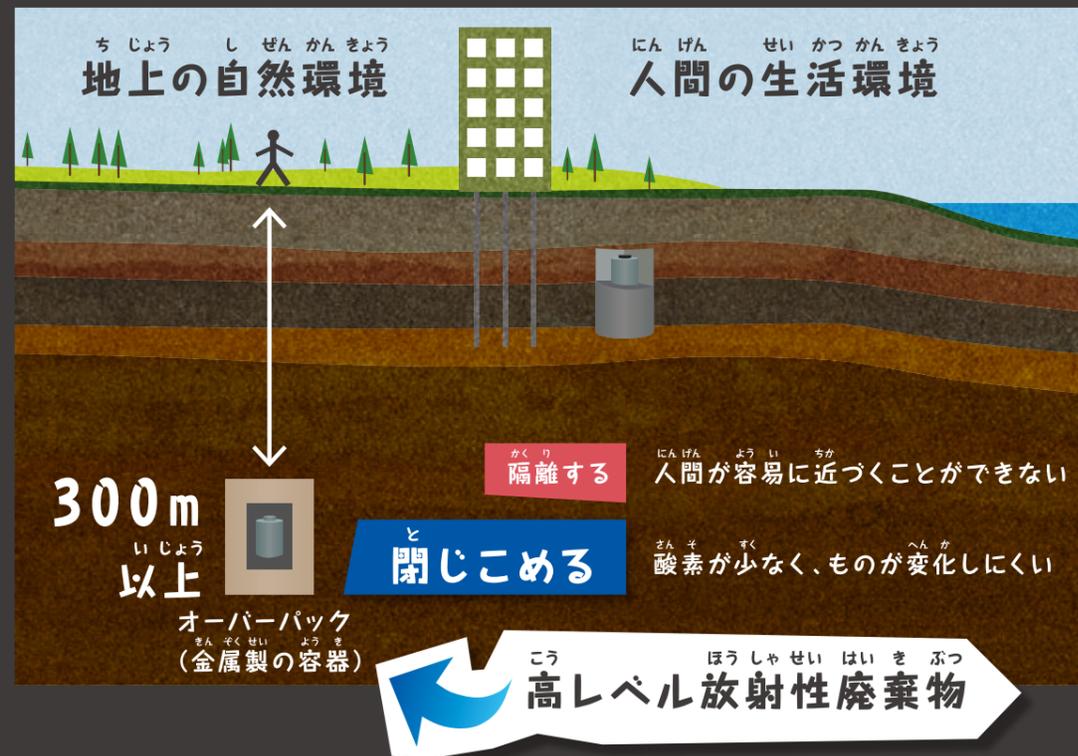


Nagra提供の図(nagra bulletin No.30(1997))に基づき作成
Nagra:スイスにおける放射性廃棄物最終処分の実施機関

02

酸素が少なく金属が腐食しにくい

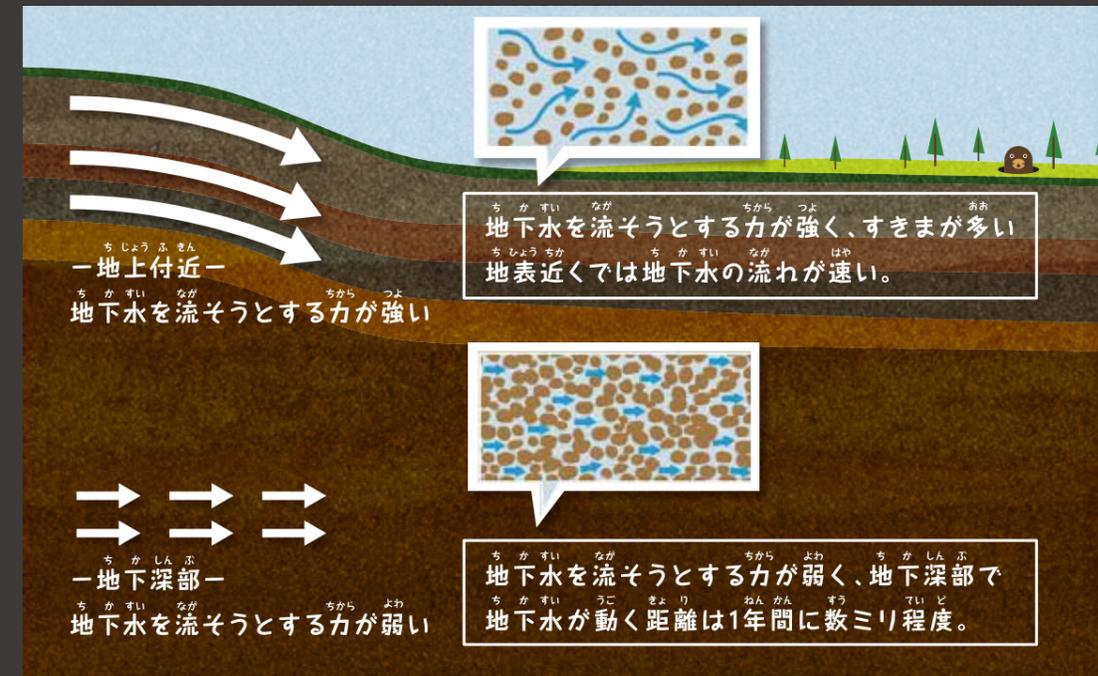
地下深いところでは、地下水に酸素がほとんど含まれないため、「オーバーパック」がそのままの状態であり続ける(腐食しにくい)特徴があります。



03

地下水の動きが非常に遅い

地下深い場所は、すきまが少なく地下水の流れが1年間に数ミリ程度と非常に遅いため、放射性物質が地下水に溶け出しても、動くスピードは非常に遅いという特徴があります。



04

放射性物質をくっつける

高レベル放射性廃棄物から出る放射性物質の多くは岩盤にくっつきやすいため、さらに動きが遅くなる特徴があります。

